

凡 例

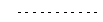
播種、植付け

挿し芽

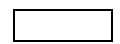


移植、定植
鉢上げ、鉢替え }
鉢定植

遮光



収穫、出荷



冷蔵



摘心・剪定



元肥

摘蕾

追肥

(切花) 夏ギク

栽培様式：露地栽培

栽培型と主な作業〔基準本数：6,000本/10a〕

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
品種 サマーイエロー スーパーイエロー	↓											
主な作業		追肥②		追肥②	出荷			挿し芽		仮植・元肥	定植・元肥	追肥①

施肥基準 (kg/10a)

		仮植土		定植土		備 考	
施肥基準	肥料成分	元肥	元肥	追肥①~③		土質は特に選ばないが、pH5.5~6.5。多肥、多湿栽培は花芽分化を遅らせる。	
	N	1~3	10~15	5~7			
	P ₂ O ₅	1~3	15~20	5~7			
	K ₂ O	1~3	12~15	3~5			

施用上の留意事項

(切花) バラ

栽培様式：施設栽培

栽培型と主な作業〔基準本数：6,000本/10a〕

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
品種 ロ-テロ-ゼ ノブレス ア-ルスメ-ル ゴ-ルド												
主な作業	追肥	追肥 苗定植・元肥	追肥	追肥	剪定・追肥	出荷・追肥	追肥	追肥	追肥	追肥	追肥	追肥

施肥基準 (kg/10a)

		定植土		備考
施肥基準	肥料成分	元肥	追肥 ~	栽培期間が長いため、排水、保水性がよく腐食質に富み、地力のある土壌が適する。 土壌が酸性では生育が抑制され、pH6~7が適する。
	N	10~15	3~5	
	P ₂ O ₅	15~20	3~5	
	K ₂ O	10~15	1~3	

施用上の留意事項

(切花) ガ-ベラ

栽培様式：施設栽培

栽培型と主な作業〔基準本数：900本/10a〕

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
品種 タレント ニッキ- チュレキ ロイヤルレイン スペッタ-	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px;"></div>											
主な作業			株追 分肥 け		苗肥 定植 ・元	追肥			追出 肥荷		追肥	

施肥基準 (kg/10a)

		島しょ火山灰土		備考
施肥基準	肥料成分	元肥	追肥 ~	生育期間が長いので、排水、保水性がよく腐食質に富み、地力のある土壌が適する。 葉が茂り過ぎないように古い葉を除去し、花つきをよくする。
	N	10~15	5~7	
	P ₂ O ₅	5~10	1~3	
	K ₂ O	15~20	5~7	

施用上の留意事項

(切花) フリ - ジア

栽培様式：冷蔵促成栽培

栽培型と主な作業〔基準本数：90,000本/10a〕

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
品種 アラジン エレガンス ベルエア ロサノバ ベルサイユ											
主な作業	追肥	出荷							球根冷蔵		定植	追肥

施肥基準 (kg / 10a)

		島しょ火山灰土			備 考
施肥基準	肥料成分	元 肥	追 肥	追 肥	冷蔵処理：10 = 35 ~ 40日間 定植後は、2週間を遮光ネットで覆って馴化する。 過剰窒素は、主茎のしまりを欠く株となるため注意する。
	N	25 ~ 30	1 ~ 3	1 ~ 3	
	P ₂ O ₅	30 ~ 35	3 ~ 5	3 ~ 5	
	K ₂ O	25 ~ 30	3 ~ 5	3 ~ 5	

施用上の留意事項

(切花) フリ - ジア

栽培様式：球根養成

栽培型と主な作業〔基準本数：220,000本/10a〕

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
品種 カヤック エレガンス ロ - ズマリ - オベロン												
主な作業	追肥		追肥	花摘み	収穫					定植・元肥	追肥	追肥

施肥基準 (kg/10a)

		島しょ火山灰土		備 考
施 肥 基 準	肥料成分	元 肥	追肥 ~	
	N	7~10	3~5	
	P ₂ O ₅	10~12	7~10	
	K ₂ O	10~12	7~10	

施用上の留意事項

(切花) チュリップ

栽培様式：施設栽培

栽培型と主な作業〔基準本数：8,000本/10a〕

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
品種 レッドクイーン バレリーナ アンジェリケ ファンシブル	<input type="text"/>											
主な作業	追肥	出荷									植付・元肥	

施肥基準 (kg/10a)

		定植土		備考
施肥基準	肥料成分	元肥	追肥	
施肥基準	N	10~12	5~7	
	P ₂ O ₅	12~15	3~5	
	K ₂ O	10~12	3~5	

施用上の留意事項

(切花) スカシユリ

栽培様式：加温栽培

栽培型と主な作業〔基準本数：55,000本/10a〕

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
品種 レガッタ マレ-ネ コロンボ セリ-ヌ モナ												
主な作業									植付	加温	追肥	出荷

施肥基準 (kg/10a)

		島しょ火山灰土		備 考
施肥基準	肥料成分	元 肥	追 肥	球根は10×12cmの間隔に、球根の高さの3倍の深さになる覆土とし、茎根の発達を促す。
	N	5~10	1~3	
	P ₂ O ₅	10~15	3~5	
	K ₂ O	10~15	3~5	

施用上の留意事項

(切花) トルコギキョウ

栽培様式：施設栽培

栽培型と主な作業〔基準本数：42,000本/10a〕

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
品種 あずまの波 あずまの雪	————— …………… —————											
	————— —————											
主な作業	追肥	出荷					播種	冷蔵処理		苗定植・元肥	追肥	暖房

施肥基準 (kg/10a)

		島しょ火山灰土		備 考
施肥基準	肥料成分	元肥	追肥 ~	発芽後、夜温10~15℃、昼温自然温度で管理し、苗がロゼット化するのを避ける。 排水、保水性がよく腐食質に富み、地力のある土壌が適する。 土壌が酸性では生育が抑制され、pH6~7が適する。
		N	7~10 3~5	
		P ₂ O ₅	7~10 5~7	
		K ₂ O	10~15 5~7	

施用上の留意事項

(切花) ストレチア

栽培様式：露地栽培

栽培型と主な作業 [基本本数：600株/10a]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目			○	○								
2年目			★									
3年目			☆									
主な作業			株追 分肥 ① 定植					出 荷	追 肥 ②		追 肥 ③	

施肥基準 (kg/10a)

		鉢定植土		備 考
施 肥 基 準	肥料成分	元 肥	追肥①～③	① 3～4月、主茎が6～8本の大株に株分けし、130×130cm間隔に定植する。 ② 10～12年を目安に改植するが、改植にあたっては、追肥を多用し、土壌改良に努める。
	N	10～15	5～10	
	P ₂ O ₅	10～15	5～10	
	K ₂ O	10～15	5～10	

施用上の留意事項

(切葉) レザーファン
栽培様式：施設切葉栽培

栽培型と主な作業 [基準本数：6000本/10a]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
1年目												
2～5年目			○	○		☆		☆		☆		☆	
	☆												
	☆												
主な作業			株追 定肥 植① ・ 元肥		追肥 ②		ビ去の ニ・み 遮の ル光栽 を資培 除材	追肥 ③		追肥 ④	ビニール 被覆	出荷	追肥 ⑤

施肥基準 [kg/a]

		島しょ火山灰土		備 考	
施 肥 基 準	肥料成分	元 肥	追肥①～⑤	①酸性土壌を好むので、植え付け前にピートモス等を施し、土壌改良に努める。 ②生育期間が長いので、排水、保水性がよく、腐食質に富み、地力がある土壌を好む。 ③安定収量を確保するため、初期からの過度の収穫をひかえ、株は4～5年を目安に改植する。	
		N	10～15		5～8
		P ₂ O ₅	10～15		1～3
		K ₂ O	10～15		1～3

施用上の留意事項

(切葉) ルスカス

栽培様式：施設切葉栽培

栽培型と主な作業 [基準本数：6000本/10a]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目	○											
2～5年目	★											
	☆											
	☆											
主な作業		追肥①		追肥②					追株肥定植・元肥	ビニール被覆	追肥④	出荷

施肥基準 [kg/a]

		島しょ火山灰土		備考
施肥基準	肥料成分	元肥	追肥①～④	①生育期間が長いので、排水、保水性がよく腐食質に富み、地力がある土壌に適する。 ②定植後の初期収量を確保するため、主茎が6～8本の大苗を用いる。 ③乾燥を好み、過湿条件を嫌う。 ④9～10月に古枝を整理し、萌芽を促す。
	N	10～15	5～8	
	P ₂ O ₅	10～15	1～3	
	K ₂ O	10～15	1～3	

施用上の留意事項

(切葉) コルディリーネ

栽培様式：施設切葉栽培

栽培型と主な作業 [基準本数：30,000本/10a]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目			↓		○ ★							
2～4年目	□		☆		☆			☆		☆		
主な作業			追肥① 挿し芽		追株肥定植・元肥			追肥③		追肥④ 出荷		

施肥基準 [kg/a]

		島しょ火山灰土			備考
施肥基準	肥料成分	元肥	追肥①②④	追肥③	①生育期間が長いので、排水、保水性がよく腐食質に富み、地力がある土壌に適する。 ②5月下旬、株を2～3本立ちに整枝し、安定収量に努める。 ③3～4年を目安に、株を改植する。
	N	10～15	5～8	7～10	
	P ₂ O ₅	10～15	1～3	1～3	
	K ₂ O	10～15	1～3	1～3	

施用上の留意事項

(切葉) タマシダ

栽培様式：自生地管理

栽培型と主な作業 [基準本数：本/10a]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	☆ ☆											
	☆ ☆											
主な作業		追肥①							追肥②			

施肥基準 [kg/a]

		島しょ火山灰土	備考
施肥基準	肥料成分	追肥①②	①フシダニの寄生に、注意する。
	N	1~3	
	P ₂ O ₅	1~3	
	K ₂ O	1~3	

施用上の留意事項

(観葉鉢物) ユッカ

栽培様式：鉢物出荷

栽培型と主な作業〔標準鉢数：1200鉢：10a〕

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	摘要
主な作業	追肥						発根処理				鉢元肥植・10号鉢	出荷	

施肥基準（元肥一用土1000ℓ当たりグラム数量、追肥一1000鉢当たりのグラム数量）

		鉢定植土		備考
施肥基準	肥料成分	元肥	追肥	①挿し床はピートモス7：パーライト3の体積割合で作成し、原木の発根を促す。 ②定植後、充分に根が張り、株が安定してから出荷する。 ③葉先きが固く尖っているので、取り扱いには注意する。 ④追肥として液肥を用いる場合 液肥成分 N-10、P ₂ O ₅ -4、K ₂ O -8の1000倍液を1～2回程度施用する。
	N	15～20	5～10	
	P ₂ O ₅	10～15	5～10	
	K ₂ O	15～20	5～10	

施用上の留意事項

(観葉鉢物) チャマエドラ

栽培様式：鉢物出荷

栽培型と主な作業〔基準鉢数：1200鉢/10a〕

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目												○
2年目												★◎
3年目												★◎
4年目												☆
5年目	☆											☆
主な作業		追肥	出荷			追肥	鉢号 植鉢 げ ・元 3肥	鉢号 植鉢 げ ・元 3肥	追肥			播種

施肥基準（元肥一用土100ℓ当たりグラム数量、追肥一100鉢当たりのグラム数量）

		移植土（3号鉢）		定植土（尺鉢）		備 考
施	肥料成分	元 肥	追肥①～③	元 肥	追肥①～④	①チャマエドラ属の‘セフリジー’ ‘ミクロスパティク’ ‘エランピン’ の3品種の標準作型を示す。 ②移植は鉢上げしなく、温室内に植え付ける場合も、この施肥基準に準じる。
肥	N	10～15	5～10	15～20	5～10	
基	P ₂ O ₅	10～15	5～10	10～15	5～10	
準	K ₂ O	10～15	5～10	15～20	5～10	

施用上の留意事項

(切葉) フェニックス・ロベレニ -

栽培様式：露地栽培

栽培型と主な作業 [基準本数：2700本/10a]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目												
2年目												
3年目												
4年目												
5年目												
6年目												
主な作業					追仮定 肥植植 ①		追肥 ②		出追 荷肥 ③		播種	

施肥基準 [kg/a]

島しょ火山灰土		仮植土	定植土	備考
施肥基準	肥料成分	追肥①~③	追肥①~③	①種子は取り播きとする。 ②2年目の春、苗を30cm間隔に仮植する。 ③仮植2年後、75cm×50cmに定植する。
	N	1~3	5~8	
	P ₂ O ₅	1~3	5~8	
	K ₂ O	1~3	5~8	

施用上の留意事項

(観葉鉢物) フェニックス・ロベレニ -

栽培様式：鉢物出荷

栽培型と主な作業 [基準鉢数：2500鉢/10a]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
20年目												
主な作業		追肥	出荷		根つき	鉢定植・尺鉢						

施肥基準 (元肥 - 用土1000当たりグラム数量、追肥 - 1000鉢当たりのグラム数量)

		定植土	備考
施肥基準	肥料成分	追肥	鉢定植は「水ぎめ法」で行い、遅くとも8月上旬までに作業を終える。
	N	5~10	
	P ₂ O ₅	5~10	
	K ₂ O	5~10	

施用上の留意事項

(切葉) スマイルックス

栽培様式：施設切葉栽培

栽培型と主な作業 [基準本数：4000本/10a]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目												
2～5年目												
主な作業			追肥①	株定植・元肥	追肥②			追肥③	出荷	追播肥種④		鉢追加肥温 上げ⑤開始

施肥基準 [kg/a]

島しょ火山灰土		移植土(g/100ℓ)		定植土(kg/10a)		備 考
施肥基準	肥料成分	元肥	追肥	元肥	追肥①～⑤	①生育期間が長いため、排水、保水性がよく腐食質に富み、地力ある土壤に適する。 ②土壤の水分条件は中湿を嫌い、乾燥を好み、耐乾性は強い。 ③定植後はピンチを2～3回行って萌芽数を増やし、株作りに努める。
	N	20～25	10～15	10～15	3～5	
	P ₂ O ₅	25～30	5～10	15～20	3～5	
	K ₂ O	20～25	10～15	10～15	3～5	

施用上の留意事項

(観葉鉢物) ドラセナ・マッサンゲアナ

栽培様式：鉢物出荷

栽培型と主な作業〔基準鉢数：2500鉢/10a〕

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	摘要
	<hr/>												
主な作業							発根処理				鉢元肥植・10号鉢	追肥 出荷	

施肥基準（元肥 - 用土100ℓ当たりグラム数量、追肥 - 100鉢当たりのグラム数量）

		鉢定植土		備 考
施肥基準	肥料成分	元 肥	追 肥	①挿し床はピ - トモス7 : パ - ライト3の体積割合で作成し、原木の発根を促す。 ②発根した原木は、尺鉢に4 ~ 5本を寄せ植えし、充分に根が張り、株が安定してから出荷する。 ③追肥として液肥を用いる場合 液肥成分 N - 10、P ₂ O ₅ - 4、K ₂ O - 8の1000倍液を1 ~ 2回程度施用する。
	N	15 ~ 20	5 ~ 10	
	P ₂ O ₅	10 ~ 15	5 ~ 10	
	K ₂ O	15 ~ 20	5 ~ 10	

施用上の留意事項

(観葉鉢物) ケンチャヤシ

栽培様式：鉢物出荷

栽培型と主な作業〔基準鉢数：800鉢/10a〕

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目	_____											
2年目	_____											
3・4年目	_____											
5年目	_____											
主な作業	追肥	出播 荷種	追肥		追肥	移植		追肥	鉢号 植鉢 げ・元 尺肥		追肥	

施肥基準

		移植土① (Kg/10a)		移植土② (Kg/10a)		定植土 (mg/鉢)		備 考
施肥基準	肥料成分	元肥	追肥①~②	元肥	追肥①~③	元肥	追肥①~④	①移植1回目：15×15cm 移植2回目：30×30cm を基準に温室内に定植する。 ②苗は尺鉢に定植して2~3ヵ月、鉢内に根が十分に張ってから順次出荷する。
	N	3~7	1~3	5~7	2~4	15~20	5~10	
	P ₂ O ₅	3~7	1~3	5~7	2~4	10~15	5~10	
	K ₂ O	3~7	1~3	5~7	2~4	15~20	5~10	

施用上の留意事項

(切葉) アレカヤシ (ヤマドリヤシ)

栽培様式：露地

栽培型と主な作業

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	摘要
													1年目
													2年目
													3年目
													5年目
													10年目
主な作業		鉢上げ 追肥		元肥 定植					追播 肥種				

対象土壌と施肥基準 (kg/10a)

土壌	圃場 (小笠原赤色土)					備考	
施肥基準		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆肥		
	元肥	10	10	10	2000		
	追肥	20	20	20			
	計	30	30	30	2000		

施用上の留意事項 ① 追肥は、草勢に応じて施用量を加減する。

(観葉鉢物) アレカヤシ (ヤマドリヤシ)

栽培様式：8号鉢仕立て3～4月出荷

栽培型と主な作業

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	摘要	
													1年目	
													2年目	
													3年目	
													4年目	
主な作業		鉢上げ	追肥	出荷	元肥	定植				播種	追肥	遮光	鉢定植	

対象土壌と施肥基準

(kg/10a)

(kg/m³)

圃場 養成	土壌	圃場 (小笠原赤色土)					鉢 養成	土壌	定植土 (小笠原赤色土)				備考	
	施肥基準	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆肥	施肥基準		N	P ₂ O ₅	K ₂ O	堆肥			
	元肥	10	10	10	2000	元肥		0.50	0.84	0.50				
	追肥	10	10	10		追肥		0.25	0.25	0.25				
	計	20	20	20	2000	計		0.75	1.09	0.75				

施用上の留意事項 ① 追肥は、草勢に応じて施用量を加減する。